

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人ほのぼの会		
介護事業所名	特別養護老人ホームふれあい		
介護保険事業所番号	2570400263	サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	近江八幡市上田町1315-1		
利用定員	50人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	50台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・6月～7月にかけて「導入後のアンケート」を実施した。導入前と比較し、居室での入居者の状態を把握することができ、精神的な負担が軽減した			
・またお看取り対応の利用者のご逝去のタイミングをつかむことができ、夜勤時の不安が軽減したなどの良い点についての回答を得た。一方で、実際のベット上での動作と離床感知センサーとのタイムラグがある・入居者の動作が早いとセンサーが反応しないなどの不安要素も確認した。			
・眠りスキャンのサーバー異常が発生した際の、サーバーパソコンの再起動方法について夜勤職員に説明会を実施した(選任し数名に実施)			
・眠りスキャンは1台ごとに電源が必要であるが、ベットを動かす・居室掃除をするなどの際に、コードを踏んだり、ベットのキャスターで踏みつけたりし、電源コードが切れるなどの破損が5件ほど発生した。			
・停電時、眠りスキャンに電源を送れないため使用できないということもあり、災害時の居室状況確認等に不安が残る。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・IT機器による分析により、根拠に基づいたケアに取り組むことについては、お看取りの入居者へ対して効果が発揮できた。お亡くなりになる前の心拍や脈拍情報等により、ご家族様へ最期の適切なタイミングで面会にお越しいただくことに繋がった。BPSDの軽減については、機器情報の分析までは出来ておらず、次年度の課題である。			
・令和3年度事故発生数については、令和2年度と比較し39件減少の54件であった(令和3年1月～同年12月)。眠りスキャンの情報をパソコンのモニターやスマートフォンで確認し、入居者の行動を先読みし居室に訪問できていることで、事故を未然に防ぐことに繋がったと分析している。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・導入後、眠りスキャン専用のモニターを各ユニットに設置。それまでは介護記録を入力するパソコンで眠りスキャンデータを確認していたため、介護記録画面を優先する傾向があった。介護職員が常に眠りスキャンデータを確認することで、居室における入居者の状態や安全確認をスムーズに行えることを目的に専用モニターを設置。このモニターはステックパソコンと組み合わせ、有線ではなく無線LANにて受信し画像を確認できるようなセッティングにした。ステックパソコンを使用することで、眠りスキャン専用モニターに不具合が発生した場合、テレビにステックパソコンを繋げば、眠りスキャンデータを見ることも可能となる。			
・無線LAN環境については、スマートフォンの電波障害が発生した。設置業者に依頼し対応している。アクセスポイントの場所変更や、ハンドオーバーを防ぐためのアプリをインストールするなど様々な対応を行っている。当初と比較し改善されたが、時折スマートフォンが繋がりにくいなどの障害は現在も残っており、設置業者と連携しながら改善に努めている。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

**令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書**

法人(事業者)名	社会福祉法人 高島市社会福祉協議会		
介護事業所名	グループホームはあとふる朽木		
介護保険事業所番号	25922000154	サービス種別	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県高島市朽木市場593-1		
利用定員	9人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	パナマウントベッド製 見守り支援システム 眠りSCAN MN-1520		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	(有)・無		
導入時期	令和 2年12月	導入台(セット)数	1
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
導入当初～令和4年1月末までは、介護度が高く高齢の利用者に対し、看取りを念頭に置きケアする中で、睡眠のリズムや、呼吸、心拍などの変化をアラートで表示することにより日常との変化に気づくことを目的として使用した。			
また、その後ターミナル期とされる利用者がいない時には、転倒リスクの高い利用者に対し睡眠リズムや、起き上がりに対応でき、適切な時間に介助にあたれるようにした。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
眠りスキャンの活用により、看取りとなった日やその前の心拍や呼吸数などの変化もあり、息を引き取った時にも、眠りスキャンの表示で気づくことができ、早めの対応ができたことで慌てることなく対応できたと感じている職員もいる。			
また、その他の使用にあたっては、動きや、覚醒に対応できることで、転倒リスクの軽減や、介護のタイミングを図ることができ、夜間の見守り場面での負担軽減については、ほぼすべての職員が軽減できていると感じている。			
導入台数が一台であることもあり、精神的な負担軽減は50%程度と高くはないが、必要に応じ使い分けることで軽減を図れればと思っている。			
眠りのリズムが把握しやすくなったことで介護のタイミングがわかり、その他の業務にかかる時間が取れると感じている職員もあり、導入後アンケートにおいては、すべての職員が支援につなげられると答えている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
パソコンのデータ容量の問題もあってか、接続エラーが表示されることが続き、業者に連絡を取り、対応策を確認。エラー時は一旦接続を切る。電源を切るなどの対応をしていたが、エラー状態が続くこともあり、業者に確認しながら新しいログを作成することで軽減ができた。			
パソコン操作に慣れていない職員もあり、本体、ルーター電源の入り切りだけでなく、PCでのログイン動作などが、どの職員でもできるようにしておく必要がある。PC操作については眠りスキャンの再ログインだけでなく、PCの再起動の必要が生じることもあるため、操作方法をレクチャーした。			
夜間に生じた場合で、一連の作業をしてもエラーが消えない時の対応については、検討の必要がある。			

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 青祥会		
介護事業所名	介護老人保健施設 長浜メディケアセンター		
介護保険事業所番号	2550380014	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	滋賀県長浜市加田町2984-1		
利用定員	104人	介護ロボットの種別	見守り支援
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	(有)・無		
導入時期	3年 3月	導入台(セット)数	2台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
<p>【1. 介護ロボットの使用状況】</p> <p>※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規や再入所者に対し眠りSCANを一定期間(1週間程度)使用し、夜間の睡眠、覚醒、離床の情報の収集しています。 ・睡眠や覚醒状況のデータから、おむつ交換時間などを評価・分析し、使用者それぞれの夜間の睡眠パターンを把握し在宅復帰に向けたアドバイスにつなげています。 			
<p>【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】</p> <p>※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眠りSCANの効果や成果を「眠りSCAN導入によりみえたこと～睡眠と排泄の関係～」の演目で滋賀県社会福祉学会で発表し内容は次のとおりでした。 ・データ結果から、対象者40名のうち良眠が確認できた利用者は12名と少ないことがわかりました。夜間起き上がりや覚醒が見られる利用者は28名で、そのうち18名は排せつに問題を抱えていることがわかりました。 ・排せつに問題を抱えている18名の利用者の多くは、夜間帯の尿失禁等による不快感から覚醒しているケースが見られたので、眠りSCANで覚醒している時間にパット交換等をタイムリーに行い覚醒時間の減少につなげました。 ・厚生労働省の「介護ロボット等効果測定事業」の実証調査に協力しました。 			
<p>【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】</p> <p>※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のPCスキルに差があり、PCや端末からデータの読み取りができない職員がいるので、スキルレベルを全体的に向上させていく必要がある。 			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

**令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書**

法人(事業者)名	社会福祉法人まんてん		
介護事業所名	特別養護老人ホームまんてん塩津		
介護保険事業所番号	2590300188	サービス種別	地域密着型老人福祉施設入居者生活介護
所在地	滋賀県長浜市西浅井町塩津中1123番地		
利用定員	29人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	(有)・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	29台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者全員のベッドマットレスの下に敷いて、以下の目的で使用した。 <ol style="list-style-type: none"> ①夜間の睡眠状態や排泄ケアのタイミングを知り、良質な睡眠が得られるようにすることで日中の活動性を高め、生活のリズムを整える。 ②転倒や転落リスクの高い利用者にはアラームを設定し、安全の確保に努める。 ③看取り期のバイタルサインの把握、異常の早期発見と適切な対応に努める。 			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者29名中1名は電源コードを引き抜くなどの行為がみられ使用せず、28名について使用している。 <ol style="list-style-type: none"> ①について;尿意や尿量による排泄リズムに加え、特に夜間はノンレム睡眠のタイミングに合わせて排泄介助を行った。おむつ交換の方は明らかな効果はまだ見られないが、夜間のトイレやポータブルトイレへの誘導はスムーズになった。また、起床の声かけのタイミングがわかり覚醒が良くなった。 ②について;現在10名にアラームを設定している。起居動作で反応し訪室時には臥床されているケースや、訪室時にはすでに離床されていてヒヤットする場面もあるが、転倒・転落事故は予防できている。 ③について;前回以降、4名の看取り介護を行った。呼吸や脈拍の変化から終末が近い状況を把握でき、ご家族への連絡や対応がタイミング良く行え、ご家族から感謝の言葉を頂いた。 			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
<ul style="list-style-type: none"> ・離床センサーとして使用する場合は、PC画面と離床とのタイムラグが生じるので間に合わない可能性があることを知って対応する必要がある。特に、転倒リスクが高い利用者には要注意である。 ・使用時の個人設定やデータ分析には知識が必要であり、引続きPC操作が苦手な職員に対しマニュアルを作成し、都度説明を行っているがまだ十分に活用できていない。 ・重度の認知症で、電源コードを引き抜いたりマットレスを激しくいじったりする利用者には使用できない。 			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

**令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書**

法人(事業者)名	社会福祉法人 湖東会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム いぬかみ		
介護保険事業所番号	2571800024	サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	滋賀県犬上郡多賀町中川原605番地2		
利用定員	80人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有 無		
導入時期	令和3年 2月	導入台(セット)数	30
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 ①夜間の睡眠及び生活リズムの把握が必要な方 ②ベッドから転落する恐れのあるハイリスクな方 ③看取り期の方 ④体調に大きな変化が見られた方			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 ①夜間の排泄に関して、個別に覚醒時、訪室を行い、排泄介助に繋がるというように利用者の行動に合わせたケアが行えるようになり介護職員、入居者への負担が軽減した。 ②導入後、眠りSCAN使用者がベッドより転落した事故は5名(件数:10件)である。その2名はマット対応に変更。利用者の行動に合わせて先回り職員が動く事で、事故を未然に防ぎ職員の精神的な負担が軽減することができた。 ③看取り介護の方4名に使用をした。死亡日までの体調の変化に早く気が付くことができた。また、死亡時刻も離床アラートにより、離れた場所からでも死亡に気が付いたために、すぐに駆けつけることができ安心して業務に取り組めた。 ④体調に大きく変化している入居者に設置することで、体調の変化を数値で把握できることとなり視覚的に職員同士情報共有がしやすくなり精神的不安の軽減となった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 ・現時点では使用方法やデータ解析に不慣れな状況であり機器の取り扱いの理解、データを判断する能力が必要である為、研修等が必要である。 ・ベッドからの転落予防として活用する場合、離床されたタイミングと画面通知のタイミングにタイムラグがある為、特に行動の早い方はベッドからすでに離床されている場合がある為センサーマットとの併用が必要である。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

**令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書**

法人(事業者)名	社会医療法人 誠光会		
介護事業所名	介護老人保健施設 草津ケアセンター		
介護保険事業所番号	2550680017	サービス種別	施設サービス
所在地	滋賀県草津市野村2丁目13-13		
利用定員	100人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	超音波センサー・起き上がりセンサー(CAREaiNC連動シリーズ)		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	無		
導入時期	R2年3月	導入台(セット)数	各1セット
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
【設置の目安】 起き上がりセンサー5名に使用。超音波センサー4名に使用。 <ul style="list-style-type: none"> ・ナースコールを認識できない、もしくは認識されていてもコールを押されない方に使用。 ・自身で起き上がりが可能で動作が緩慢な方が対応しやすい。 ・超音波センサーはベッドサイドだけでなく、エレベーターや部屋の入口に設置できるため複数の見守りに対応できる。 上記の条件に該当する方に使用しています。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
【導入効果】			
①起き上がりセンサー 起き上がり時に作動するため、サイドレールセンサーのように少しの体動で作動しない。 他のセンサーのように何度も部屋を訪室する頻度が減り職員の負担が軽減した。			
②超音波センサー 端座位になられた時に作動すること、範囲を調整できるため必要な時に対応することができる。 その反面、感度が良いため、他者の動き、風なども感知することがある。 設置調整、工夫が必要であった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
【課題と対応策】			
・上記に条件に合う方を選定し、使用状況をみて評価していた。			
【介護ロボットの不都合な点】			
・コードが多く設置に悩む。コードの長さに合わせて設置場所やベッド環境を整える必要がある。 ・感度が良く少しの動きでも感知しやすい。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

**令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書**

法人(事業者)名	医療法人 医誠会		
介護事業所名	介護老人保健施設エスパラル近江八幡		
介護保険事業所番号	2550480020	サービス種別	介護老人保健施設・短期入所療養 介護通所リハビリテーション
所在地	近江八幡市大房町1002番地1		
利用定員	入所 150人 通所 45人	介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
介護ロボットの製品名	サイドコール・ケーブルタイプ、ベットコール・ケーブルタイプ、コールマット徘徊コールⅢ、転倒むし		
見守り機器の導入に伴う通信環境設備の有無	(有)・無		
導入時期	2年12月	導入台(セット)数	1式
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
各フロア(2F 3F 4F)に見守り機器 サイドコール15台 ベッドコール18台 コールマット14台 座面センサー14台 設置済 インカム導入台数 2.3.4階フロア 各12台 デイケア 9台 看護師・ケアスタッフ出勤時、インカムを所持して業務に入る			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
①業務の効率化(時間の削減) ・ケアスタッフ、看護職員が1人1台インカムを所持することで、職員間で集まらずとも情報共有が可能になった。 ・複数のナースコール対応時、職員が同一利用者に行くことが減少。インカムにて、対応利用者の共有が出来るようになった。 見守り 支援に投入する時間 導入後 1人1日 約30分程度増加			
②転倒・転落の減少 ・職員が同じ動きをすることがなくなり、ナースコール応答速度が早くなった。利用者のそばを離れることなく他職員に協力要請が出来るようになった。 転倒・転落数 導入前 1ヶ月平均20件 導入2年後 1ヶ月平均10件 50%減少した。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
①業務を行いながら使用するため、使用時に無意識に設定を変更してしまうことなどもあり、インカムなどの通信機器の不具合が多く発生するようになった。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 一善会		
介護事業所名	短期入所生活介護 赤煉瓦の郷		
介護保険事業所番号	2570400016	サービス種別	短期入所生活介護
所在地	滋賀県近江八幡市船木町59番地3		
利用定員	16人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	パラマウント 眠りSCAN NN-1520		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和2年12月	導入台(セット)数	2
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 新規利用者様には、夜間の様子を把握するために必ず使用している。 定期利用者様にも、転倒リスクのある方や体調不良がみられる方などに適宜使用している。 この1年間で計24名の利用者様に使用した。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 夜間オムツ交換行う時も、覚醒状態が確認できた時に行けるので、入眠の妨げにならない。又、トイレに行かれる方の離床の動きをされるにあたり、職員の動き出しが早くなり転倒防止に繋がる。 コールマットが利用者様分足りなくなった場合でも、眠りスキャンで代用できる。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 離床時の報告音が遅れて鳴るので、利用者様はすでに歩き初めている事がある。対策としては、コールマットと眠りスキャン両方を設置している。 日中傾眠されている方の睡眠グラフ見ての対応、対策が不十分なので、今後検討していく必要がある。			

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

**令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書**

法人(事業者)名	社会福祉法人近江ちいろば会		
介護事業所名	グループホームぼだいじ		
介護保険事業所番号	2572300024	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県湖南市菩提寺327-16		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	見守り 介護支援業務
介護ロボットの製品名	PARAMOUNT BED 眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年 3月	導入台(セット)数	18
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
<p>【1. 介護ロボットの使用状況】</p> <p>※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。</p> <p>・グループホーム入居者18名全員に眠りスキャンを導入。また、それに伴って、館内のWi-Fi環境を整備致しました。これにより、常時、パソコンモニターとタブレット端末で日中・夜間の入居様の見守り、活動状況の把握ができるようになっている。</p>			
<p>【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】</p> <p>※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。</p> <p>R3.12に眠りSCANの効果測定アンケートを実施。 n=14 負担軽減になっている・・・92.9% 夜間お部屋でのご様子が眠りスキャンの画面から確認できるので精神的にも負担が軽減されている。 など 事故防止に繋がっている・・・92.9% 利用者様がベッドから起きられたらすぐにわかるので訪室するなどの対応をすぐに取りることができる。 など</p> <p>この他にも、 夜間に起き上がられたりする様子がある時は、何やかな理由があるものとして伺え、排泄誘導や安眠への環境整備に活用しています。など、たくさんの活用事例があがっています。</p>			
<p>【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】</p> <p>※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。</p> <p>各種データを参考に、夜間の睡眠状況等の確認を行っています。昼間の活動と睡眠の状況との関係性を確認していきたいと考えています。</p>			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

**令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書**

法人(事業者)名	社会福祉法人六心会		
介護事業所名	介護老人保健施設ここの郷		
介護保険事業所番号	2550580019	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	東近江市五個荘山本町466		
利用定員	75人	介護ロボットの種別	見守り支援
介護ロボットの製品名	超音波・赤外線コール HUI-R		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
導入時期	R3年3月	導入台(セット)数	4セット
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
[対象] 新規利用者、居室内での起居動作や移動動作の確認を行う必要がある方			
[方法] 導入した4セットと既存のケーブル・マットタイプの報知装置の中から、利用の能力や生活スタイルに応じて選定して使用している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
目標① 見守り・巡回の負担軽減により、業務の効率化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル・マットタイプに比べ、コード類の配置への配慮が少なくなり、設置の手間が軽減した。 ・重さを感じずマットタイプに比べ、感知速度が早く、動作確認やリスク把握がしやすくなり、転倒リスクを懸念する精神的負担の軽減に繋がった。 ・コロナ禍において、体調不良者があった場合に速やかに設置・使用でき、最小限の接触で環境を整えることができた。 			
目標② 動作確認を行うことで、残存能力を活かしたサービス提供に繋げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・感知箇所を選択肢が増え、居室出入口、トイレ出入口など、動作確認が必要な場所に限定して設置でき、頻回な訪室や過剰な見守り・付き添いが不要になった。 			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
<ul style="list-style-type: none"> ・コードレス超音波/赤外線センサーと無線中継ボックスの2つに電源コンセントが必要。設置箇所によっては、電源タップの追加が必要になる。 ・感知がよく、寝返りによる布団のズレにも反応する。 ・センサー本体が利用者の目に触れるため、位置や角度が変わってしまうことがある。 			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。